

令和元年度 佐久市総合計画審議会 第1部会（第1回） 会議録

日時：令和元年7月10日（水）

午後1時30分～

場所：佐久市役所 602 会議室

【出席者】 7名

【事務局】 若林企画課長、木下企画調整係長、大井（哲）、大井（麻）、大内

1 開 会

2 議 事

(1) 佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について

事務局	<p>【基本目標④】 進行管理について</p> <p>今回は、平成30年度の実績評価についてご意見をいただきます。総合戦略については中間評価であることから、K P I の推移や事業の成果を審議の視点として、「当該事業は地方創生の実現に当たって効果がある」、あるいは「当該事業はこうしたら効果が上がるのではないか」といったご意見をいただきたいと思います。</p>
部会長	<p>それでは、評価報告書36ページから説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【基本目標④】(1) 持続可能な経済・生活圏の形成</p> <p>ア 地域の特徴を生かした経済・生活の拠点の形成（P36）</p> <p>イ 地域交通ネットワークの整備（P37）</p> <p>ウ 安心して暮らすことのできる保健・医療・福祉体制の構築（P38）</p> <p>について説明</p>
委 員	<p>37ページ「イ 地域交通ネットワークの整備」のK P I 「公共交通延べ利用者数」について、デマンドタクシーは利用可能曜日が限定されていたり、主に通院や買い物で利用した帰りの利用が不便だったりといった課題があるため、タクシーチケットの方がよいといった意見があると聞いています。</p>
事務局	<p>いただいたご意見を所管課に伝えたいと思います。</p>
委 員	<p>佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略本編の38ページに、「中山間地</p>

	<p>域における拠点となる集落への集約化や集落間のネットワーク化により、生活サービス機能の効果的・効率的な提供体制を構築し、各種生活支援サービスの維持を図ります」とあります。実際に中山間地域において別荘的に暮らしている方からデマンドタクシーの利便性を上げてほしいという意見が出ていますが、私個人の意見としては、要望を上げる側としても財源面を考えるべきだと思います。</p>
事務局	<p>行政としては、経費の観点から考えると、人口減少が進む中、まちづくりを進めていくにあたって地域の拠点に人が集中することは望ましい一方で、山村暮らしがしたい、先祖代々の土地で暮らしたい等のニーズがあることも承知しております。市民の希望をかなえるためのネットワークや生活基盤の構築を図っていこうと考えています。</p>
委員	<p>住みよいまちづくりということで、現在樋橋地区や臼田地区は開発の対象となっていますが、中山間地域は開発の優先度が下がると思いますし、要望しても予算的に取ってもらえないという回答を聞きます。市内においては「まち」よりも中山間地域の方が圧倒的に多いため、調査をすれば満足度は低いという結果が出るのは当然の流れのように思います。人口減少に伴って財源も減少していくことはわかりますが、今後も大きな課題になるように思います。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、限られた財源の中で全ての要望に対応していくことは現実的に難しいところがあります。その中でも、今そこに住んでいる方々が住み続けられるようにするための施策には優先して取り組んでいきたいと考えています。例えば、佐久平浅間地区においては、地権者組合ができ、組合から市に区画整理の要望が上がってきたように、地域がまとまって行政と話をする中で協議させていただければと思います。</p>
委員	<p>樋橋地区においては、移住者を呼び込む上で、若い世代がどのくらい来てくれるかが重要だと思います。</p>
事務局	<p>佐久平駅の周辺については、長野県内でも20数年ぶりに新小学校（佐久平浅間小学校）を新設し、開校当初500人程度だった児童数は、現在約750人にまで増加しました。このことから、佐久平駅周辺には若い世代が急増していると思われます。したがって、傾向から分析すると、樋橋地区に一定の居住空間を整備すればある程度の若い世代が移り住んでくれるだ</p>

	<p>ろうと考えています。</p>
委 員	<p>今回の樋橋地区の開発では、定年退職した方が別荘として暮らすような施設はできる予定でしょうか。</p>
事務局	<p>市が直接的に施設整備をする計画はありません。ただし、民間企業がサービス付き高齢者向け住宅等の高齢者が安心して暮らし続けられる住まい環境の整備を進めようとしていますので、行政ができることがあれば推進していきたいと考えております。</p>
委 員	<p>人口が増えることは望ましいことだと思いますが、10年、20年先に社会の高齢化が進んだ際、介護が必要となったり、納税するより財源を消費する層が増えたりしたときが心配です。</p>
事務局	<p>そういった課題については、サービス付き高齢者向け住宅入居者であれば、住所地特例という制度があり、移住する前の自治体が介護保険を負担することとなっています。国を挙げて東京一極集中回避のための政策を進めているところです。</p> <p>また、前述に関連しますが、佐久平駅周辺では既存のサービス付き高齢者向け住宅運営事業者が営業規模を拡大する動きが見られます。</p>
部会長	<p>それでは、他にご意見などはございませんか。</p> <p>ないようでしたら、これらについては部会の意見として取り扱うこととします。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明をお願いします。</p> <p>【基本目標④】(2) 人口減少を踏まえた既存ストックのマネジメント強化 ア 公共施設等の適正管理と有効活用 (P40) イ 空き家等の利活用 (P41) について説明</p>
委 員	<p>41 ページ「イ 空き家の利活用」について、空き家バンク登録物件はすぐに住める状態のものが対象ですか。</p>

事務局	ご指摘のとおりです。
委員	中山間地域においては、著しく老朽化の進んだ空き家が散見されます。
事務局	佐久市は質の高い空き家バンク登録物件を紹介することを特長としてきましたが、登録物件数が減少する中で、どういった登録基準を設けるべきか、所管課の方で宅建協会や関係課と検討を進めているところです。
委員	登録にはリフォームを必要としますか。
事務局	借主、買主が改修に利用できる補助金制度があります。登録に際してはリフォームを必須としているものではありません。 空き家の増加は大きな課題となりますので、最適な空き家利活用について引き続き検討を進めていきたいと思っております。
委員	無居住家屋が多いと聞きましたが、持ち主の調査は行っていますか。
事務局	行っています。空き家状況の調査では、家屋の老朽化についても調査を行い、データ化しております。
部会長	それでは、他にご意見などはございませんか。 ないようでしたら、これらについては部会の意見として取り扱うこととします。
部会長	(異議なし) それでは、次の説明をお願いします。
	<p>【基本目標④】(3) 住民が地域防災・防犯の担い手となる環境の確保</p> <p>ア ICT等を活用した災害対策の推進 (P41)</p> <p>イ 自主的な防災・消防活動への支援 (P42)</p> <p>ウ 防犯対策の推進 (P43) について説明</p>
委員	43 ページの「ウ 防犯対策の推進」の KPI「防犯灯の LED 化率」について、私の住む地域でも LED に替えてもらったことで、それまでは頻繁にあった電球の交換作業が無くなり、とても良かったです。

委 員	佐久市は夜間町中が明るくないですが、そういう方針なのでしょう。学生がいる家庭では防犯のことを気にしているようです。
事務局	景観のために明るくしないようにしているということではありませんが、経費がかかることではありますので、必要なところに設置したいと考えています。したがって、防犯灯の設置については区長等を通じてしっかりと要望していただき、勘案していきたいと思えます。
委 員	平賀バイパスを作った際には、夜間明るすぎると周辺の稲が育たないといった課題がありました。また、通学路になっていない道が暗く、鹿が出てくるのでどうかしてほしいという要望を区長として住民から受けることがあります。どう対応したらいいものか困っています。
事務局	まず稲への影響について、LEDは指向性が高く、大きな影響を及ぼしにくいという情報があります。また、設置数については、その道の利用率等にも関わってくるところがあります。
委 員	今回のケースは、設置を要望している住民の住んでいる地区と当該道路のある地区が異なっているため、区要望として出しづらいということがあります。
事務局	どう対応させていただくのが良いかも含めて、所管課と相談させていただければと思います。
委 員	既に所管課とお話しさせていただいています。
委 員	駒場公園も暗いと思います。児童が多く利用しているので不安があります。
事務局	駒場公園は未だ LED 化が完了していませんので、引き続き進めていきます。
委 員	42 ページの「イ 自主的な防災・消防活動への支援」の KPI「消防団員の充足率」について、消防団員数が減っているように感じます。
事務局	数値上の充足率については 42 ページに記載のとおり、平成 30 年度実績

	<p>で 98.8%となっております。これは条例定数に対する充足率のため、消防団員の実数は減少していません。しかしながら、サラリーマンとして働く方が増えたことなどの事由により、活動自体に出てこられる人の数が減っているといった実態があります。また、各地区で若い消防団員の確保に苦労しているという実態もあります。</p>
委員	<p>自分たちの区だけでは消防訓練ができないため、周りの区と合同で行っているところがあります。また、昼間に何かあったときに対応できる女性の力を活用した組織が構築できたら良いなということを地域で話し合っています。</p>
事務局	<p>市としても初動対応は重要だと考えています。今年度からは「さくの絆」作戦ということで、消防団と区が連携し、取り組んでいるところです。</p>
委員	<p>大学生の消防団登録も非常に良い取組であると聞いています。</p>
事務局	<p>佐久大学の学生が救命講習会の手伝い等をしてきています。自分の勉強にもなるということでご協力いただいています。</p>
委員	<p>良い取組だと思います。</p>
委員	<p>女学生も参加していますか。</p>
事務局	<p>参加しています。</p>
委員	<p>企業の消防団登録数は増えていますか。</p>
事務局	<p>県下では登録数が一番多いと把握しています。</p>
部会長	<p>ほかにはご意見などはありますか。 ないようですので、これらについては部会の意見として取り扱うこととします。</p>
	<p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明を事務局からお願いします。</p>

	<p>【基本目標④】（４）ふるさとづくりの推進</p> <p>ア ふるさとと世界を知る子どもの育成（P43）</p> <p>イ 生涯学習環境の整備と活動の促進（P44）</p> <p>数値目標（P36）について説明</p>
委員	36 ページの「数値目標「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合」について、どういった方を対象にアンケート調査をされていますか。
事務局	隔年で1,000 人を無作為に抽出し、調査しています。
委員	「佐久は医療環境が充実していていいね」と言われることが多いです。佐久医療センターをはじめとして、佐久は恵まれていることを実感します。
事務局	「医療」に関する満足度の項目については、毎年、満足度が高い施策の上位を占めています。また、「医療」は暮らしの安心感につながるので、移住促進イベントや地域おこし協力隊員の募集イベントにおけるPR要素のひとつとしています。また、高齢者にとっては地域包括ケアシステムも関心が高い要素となります。毎年 250 人ほど社会増がある現状を踏まえ、大切にしていきたいと考えています。
委員	医師や看護師も全国的には充実している方なのでしょうか。
事務局	人口当たりの医療従事者数について見ると、佐久市は高い水準にあります。また、就労の観点から見ても、医療従事者の割合は長野県内の他市町村と比較してもかなり高いです。訪問看護のレベルも非常に高いことで知られています。
委員	保健師、看護師や助産師の数も多く、長野県はこういった医療従事者が多いですが、その中でも佐久市は高い水準にあることは良いことだと思います。
委員	44 ページの「イ 生涯学習環境の整備と活動の推進」の高齢者大学・大学院の開催実績について、参加者数を見ると実績が出ていますが、講座終了後の参加者はどのように活躍されているのでしょうか。経験や学んだことをPRするなど、地域に貢献してもらいたいです。

事務局	実態を数値で捉えることは難しいですが、ご指摘いただいた点は大切な視点だと思いますので、所管課に伝えます。
委員	経営に関する講義など、就労世代向けのセミナーのニーズはありますか。
事務局	ニーズはあると思います。大学や公民館で取り組んでいただければと思います。
部会長	予定した議題は終了しました。全体を通して、ご意見などはございますか。
委員	「満足度・重要度市民アンケート」について、市街地と中山間地域では回答の傾向が違うと思うので、分けて分析されたらいかがでしょうか。
事務局	地域別、男女別、年齢別の分析は行っています。
委員	グルーピングが重要だと思います。
部会長	それでは、【基本目標④】についての意見は、事務局において取りまとめ後、部会長一任ということでよろしいでしょうか。 (異議なし)
部会長	本日いただいた意見は、他の部会で出た意見と一緒にまとめさせていただいて、まとめたものを委員の皆様にお返しさせていただきます。

(2) その他

次回：「第二次総合計画進行管理について」

日程について説明（令和元年7月30日（水）13時30分から 602会議室）